

ばんけい

教育ほんといっしょ

かわら版

こみち
教育の小径

No.129

2019 July

7月号



(一財)総合初等教育研究所 参与

北 俊夫先生



今月のことば

くち わざわい かど
口は禍の門

何げなく言った言葉が
予期しない災難を招く
ことがあるので、話す
ときには言葉を慎み、十分
に注意しなさいという
ことです。「禍」は「災
い」とも書きます。

夏休みの事前指導

- 子どもたちはさまざまな事件や事故、災害と隣り合わせに生活しています。いつでも「自分の身は自分で守る」ことを第一義に考え行動できるよう指導します。
- 夏休みだからこそできることに挑戦させ、成就感や達成感を味わわせませす。夏休みは子どもたちが一段と成長する貴重な機会です。

「生活安全」を第一に

間もなく、子どもたちが楽しみにしている夏休みがやって来ます。これまでは学校での生活が中心でしたが、これからは家庭や地域での生活になります。このことを従来から「子どもを家庭に返す」と言ってきました。

地域社会には、安全な生活を脅かすさまざまな事象があります。まずは、生活安全に関わることです。日常生活で事件や事故に遭遇することがあります。誘拐や傷害などの犯罪被害に巻き込まれることもあります。川や池、海などでの水難事故は後を絶ちません。近年では、屋外、室内を問わず熱中症対策が重要な課題になっています。

次に、交通事故との遭遇です。道路を歩くときや自転車に乗るときには交通ルールをしっかり守ることを徹底させます。自転車での事故は被害者になるだけでなく、加害者にもなりうることを指導します。

さらに、さまざまな自然災害が発生し、巻き込まれることもあります。地震や津波、火山活動、風水害など自然災害から身を守るためには、家族や地域の住民が一体になって身を守ることが重要です。夏休みには住み慣れた地域を離れることもあり、移動した地域

でも、起こりうる自然災害を常に想定しておくことが大切です。火災を起こさないことや発生時の身の守り方についても意識させておきたいものです。

これらのほかにも、食中毒の防止、暴力や万引きの防止、有害サイトを通じた犯罪防止などがあります。

私たちの身の回りではさまざまな事件や事故、災害などが発生します。それらにいつどこで、どのように遭遇するか分かりません。夏休みに入るまえに、地域の地図などを使って、事件や事故の起こりうる場所や可能性を予め想定しておくことや身を守る体制を取っておくことが大切であることを指導します。「自分の身は自分で守る」ことは安全教育の大原則です。

夏休みだからこそできること

夏休みは時間的に余裕があり、子どもたちは時間を自ら管理することができます。時間という資源を有効に活用して、夏休みだからこそできることを考えさせ、チャレンジさせます。

例えば、長編の物語を読む。博物館や美術館めぐりを。自然体験やボランティア活動に取り組む。自由研究に挑戦するなどが考えられます。一人旅を体験させることもできますが、これには綿密な準備が求められます。小

今月の 自然公園の日
記念日 (7月21日)

昭和32年(1957年)のこの日に自然公園法が制定されました。自然の優れた風景を守り、自然に親しむことを目的に設けられました。

学生の発達段階を踏まえ、無謀な計画は慎みたいものです。

夏休みだからこそできる課題に挑戦し、見事に達成したときには、子どもたちが一段と成長することが期待できます。そのためには次のような事前指導が必要です。まず、チャレンジしたいことを決め、その動機や目的を明確にさせます。必要性や切実性が強いほど意欲が高まります。次に計画づくりです。どのようにチャレンジするか、おおよその道筋を考えさせます。計画は実行しながら変更されることもあります。計画を作成すると見通しが立ちますから、意欲がさらに高まります。

7月に実施される保護者会で、夏休みの過ごし方について説明します。例えば、各家庭で方針を立てること、1日の生活や夏休み期間のスケジュール表を作成すること、保護者が子どもの相談にのり、時には一緒に取り組むことなどを依頼します。何よりも家族の協力が重要になることを話します。

子どもたちには、「夏休み明けにみなさんが元気な姿で登校してくることを願っています」と伝えます。



テストの採点ミス指摘が

テストを返却したあと、保護者から採点に誤りがあるのではないかと指摘されました。保護者や子どもにどのように対処したらよいのでしょうか。

テストの採点方法の誤りはもちろんのこと、誤解を生むようなことがあってはなりません。正答であるにもかかわらず、誤答として処理するなど明らかに間違った採点をした場合には、速やかに訂正し率直にお詫びします。二度と無いように努力することを伝えることも大切です。同様な誤りをほかの子どもたちにも行っている可能性がある場合は、事情を説明し、返却したテストを回収して再度点検します。

保護者や子どもたちのなかには、明らかに誤答であるにも関わらず、正答だと誤解している場合もあります。そのようなときには、問題のねらいを含めて間違っている理由を納得できるように分かりやすく説明します。そのためは、教師のほうで予め採点基準を定めておき、必要に応じて保護者にも伝えておくといでしょう。

明らかに○か×かを判断できる場合はよいのですが、文章記述で答える問題の場合には正答例と許容範囲を示しておきます。正答が複数ある場合や正答と準正答がある場合にも例示しておきます。漢字の書き取りの場合には、とめ・はね・はらいなど鉛筆はこびの厳密さをどこまで求めるのか、正答の範囲を示しておきます。

テストの採点に誤りが無いようにするには時間を要しますが、採点基準のもとづいて複数回点検します。

教育の動向

中央教育審議会への答申

文部科学大臣は4月17日、中央教育審議会に「新しい時代の初中等教育の在り方について」諮問しました。その「理由」のなかでこれからの社会について次のように述べています。

「今世紀は、新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域での活動の基盤となっている知識基盤社会と言われており、人口知能(AI)、ビッグデータ、Internet of Things(IoT)、ロボティクス等の先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられ、社会の在り方そのものが現在とは『非連続的』と言えるほど劇的に変わるとされ

るSociety 5.0時代の到来が予想されています。」

これを読むと、これからの学校はどのように変わるのか気になります。

「理由」では新時代に対応した義務教育のあり方に関して、次の事項について検討することを求めています。

- ・小学校において基礎的読解力などの基盤的な学力の確実な定着に向けた方策
- ・義務教育9年間を見通した学級担任制と教科担任制のあり方など
- ・年間授業時数や標準的な授業時間等のあり方を含む教育課程のあり方
- ・一人一人の能力、適性等に応じた指導のあり方

新しい時代の学校はどのように変わろうとしているのか。今後の審議の状況を注視していきたいものです。



「思考力・判断力・表現力」の

指導と評価

その9

育て方③ 発問と指示で促す

思考・判断したり表現したりする際には、これらの活動を促すきっかけが必要になります。子ども自ら疑問や課題を意識して、自ら行動に移すことが理想です。しかし、そうした状況が生まれていない場合には教師が動機づけます。子どもたちの思考や行動は教師の発問や指示で促されるからです。

例えば「○○であるのはどうしてでしょうか」というのが発問です。これに対して「○○である理由を考えてみましょう」というのは指示です。前者は子どもの思考を強く促しているのに対して、後者は活動の内容を具体的に指示しています。

発問のなかに、「なぜでしょうか」「どうしてでしょうか」「どちらでしょうか」など疑問詞を含めると、思考や

判断が促されます。一方、「○○しましょう」といった指示には学習活動を促す役割があります。最近の学習指導案を見ると、教師の問いかけに発問より指示が多いことに気づきます。

思考・判断と表現を関連づける場合には、「どちらがよいか、討論しましょう」のように、発問と指示を一体にすると効果的です。

発問や指示の内容を「問い」という言い方もあります。教師による問いが発問や指示です。子どもの問いとは、子どもがもった疑問や課題です。思考力、判断力、表現力は子どもの主体的な活動をとおして育まれるものですから、子ども自身が問いを意識するよう授業を展開することが重要です。そのポイントは、教材や資料の提示、学習活動の構成、それに子どもの発言の取り上げ方や生かし方などにあります。

INFORMATION

てのひら文庫

文部科学省 後援

「てのひら文庫賞」読書感想文 全国コンクール 作品募集中!

9/20 締切必着

子どもたちの小さなてのひらに載せられ、あたためられ、随所に持ち運ばれ、そして、くい入るように読破してもらいたい—そんな願いがこめられた読書教材です。

- ◎総監修/児童文学作家 石森 延男
- ◎A5判 16~28ページ 4色・1色
- ◎1~6年 各12冊
- ◎学校納入定価 1冊 160円(税込)



編集後記

不注意や油断が原因で、危険な思いをされた方は多くいると思います。夏休みは出歩く児童が増え、交通量にも変化が起こります。普段慣れている道や場所でも、もしもの注意を怠らず、児童が安全に夏休みを過ごせるよう、お互いに注意したいものです。(K記)

企画・編集：ぶんげい教育研究所
発行：株式会社文溪堂
発行日：2019年7月1日